

第3章 子どもの読書活動の状況

本市の子どもの読書傾向を調べるために、市内小学校・中学校・義務教育学校・高等学校に協力いただき、児童生徒へ読書アンケート調査を行いました。読書アンケート調査の結果からは、主に次のような子どもの読書活動に関する状況がうかがえます。

1 子どもの読書に関する意識

(1) 読書の「好き」「嫌い」について（P. 42：設問1）

本を読むことが「好き」あるいは「どちらかといえば好き」という回答割合は、小学2年生と5年生では8割以上、中学2年生と高校2年生では7割以上となっています。（小学2年生、5年生、中学2年生には、それぞれ義務教育学校2年生、5年生、8年生を含みます。以下同じ。）

前回の調査と比較すると、小学2年生と小学5年生では微減したものの、中学2年生と高校2年生では7割以上と、ほぼ横ばいとなっています。

(2) 読書への意識について（P. 44：設問2）

小学2年生と小学5年生では「楽しい」あるいは「知らないことがわかる」、中学2年生と高校2年生では「楽しい」あるいは「言葉が身につく」という回答割合が高くなっています。

読書は、内容を楽しんだり、知識を得たりするものといった意識を継続的に持っている結果となりましたが、前回の調査と比較すると、学校段階・学年に関わらず「楽しい」という回答割合が減少しました。

(3) 読書のきっかけについて (P. 54 : 設問6)

小学2年生と小学5年生では「家に読みたい本があること」あるいは「学校の図書室や学級文庫に読みたい本があること」という回答割合が高く、中学2年生と高校2年生では「家に読みたい本があること」あるいは「テレビ、雑誌、新聞、インターネットの広告」という回答割合が高くなっており、学校段階・学年が上がるにつれ、情報を取得する範囲が広がっています。

また、前回の調査と比較すると、「学校で行われている読書活動(朝読)など」の回答割合が減少しました。

2 子どもの読書に関する活動

(1) 1日あたりの読書時間について (P. 46 : 設問3)

学校のある日については、学校段階・学年が上がるほど読書時間が減少する傾向にあるものの、時間数に関わらず読書をする回答割合は、小学2年生では8割以上、小学5年生と中学2年生では約8割、高校2年生では約4割となっています。

学校のない休みの日については、平日と同様に学校段階・学年が上がるほど読書時間が減少する傾向にあり、平日と比較すると「読まない」の回答割合が高くなっています。

前回の調査と比較すると、小学2年生の平日以外は、学校段階・学年や平日・休日に関わらず、「読まない」という回答割合が増加しました。

(2) 1か月に読んだ本の冊数について (P. 50 : 設問4)

冊数に関わらず、1か月に1冊以上の本を読んだ回答割合を合わせると、小学2年生では9割以上、小学5年生では8割以上、中学2年生では8割、高校2年生では5割となっています。

1冊も読まなかったという回答(不読率)の割合は、小学2年生では1割以下、小学5年生では約1割、中学2年生では約2割、高校2年生では5割以下となっており、学校段階・学年が上がるほど、不読

率が高くなる傾向があります。

前回の調査と比較すると、学校段階・学年に関わらず不読率が高くなっており、10冊以上読む多読の子どもの割合も低下しました。

(3) 本を読まなかった理由について (P. 52 : 設問5)

設問4で「1か月で本を全く読まなかった」と回答した理由について、学校段階・学年に関わらず、「勉強や習いごと、部活、学習塾など、他の活動がいそがしかったから」あるいは「他にしたいことがあったから」という回答割合が高くなっています。

前回の調査と比較すると、小学生では「他にしたいことがあったから」の回答割合が増加しました。

(4) 学校図書館、市立図書館の利用状況について

(P. 56 : 設問7)

回数に関わらず、学校図書館を利用するという回答割合を合わせると、小学2年生では8割以上、小学5年生では7割以上、中学2年生では約4割、高校2年生では3割以上となっており、学校段階・学年が低いほど、学校図書館を利用する傾向があります。

また、回数に関わらず、市立図書館を利用するという回答割合を合わせると、小学2年生では約6割、小学5年生では約5割、中学2年生、高校2年生では約3割となっており、学校図書館と同様に学校段階・学年が低いほど、市立図書館を利用する傾向があります。

前回の調査と比較しても、学校図書館・市立図書館ともに利用状況に大きな変化はありませんでした。

(5) 家庭での読み聞かせ経験について (P. 60 : 設問8)

読み聞かせの経験が「ある」という回答割合は、小学2年生では7割以上、小学5年生では約7割、中学2年生では約6割、高校2年生では約8割となっており、前回の調査と比較しても大きな変化はありませんでした。

(6) 市立図書館のおはなし会について (P. 62 : 設問9)

「知っている」、あるいは「聞いたことがある」の回答割合を合わせると、小学2年生と小学5年生では約4割、中学2年生と高校2年生では4割以上となっています。

前回の調査と比較すると、小学2年生、小学5年生、中学2年生では「知らない」という回答割合が増加しました。

(7) 電子書籍の利用について (P. 64 : 設問10)

冊数に関わらず1か月に1冊以上の電子書籍を読んだ回答割合を合わせると、小学2年生と小学5年生では約3割、中学2年生では約4割、高校2年生では約3割となっています。

前回の調査と比較すると、高校2年生では電子書籍を読んだという回答割合が増加しました。

(8) 電子書籍の印象について (P. 66 : 設問11)

小学2年生では「紙の本のほうが好き」という回答割合が最も多く、4割以上となっていますが、学校段階・学年が上がるほど肯定的な意識が強くなり「いつでもどこでも読めるので便利」という回答割合が最も多く、小学5年生では約5割、中学2年生では約7割、高校2年生では8割以上となっています。